

平成22年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の概要  
(千葉県速報値)



平成23年8月4日  
千葉県教育庁教育振興部  
指導課生徒指導室  
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸問題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、公立小・中学校の不登校、公立高等学校の長欠・中途退学、自殺に関する平成22年度調査の本県分（千葉市を含む）を取りまとめたものです。

1 調査項目及び対象

(1) 暴力行為

県内全公立小・中・高等学校

(2) いじめ

県内全公立小・中・高等学校及び特別支援学校

(3) 小学校及び中学校における不登校の状況等

県内全公立小・中学校

(4) 高等学校における長期欠席の状況等

県内全公立高等学校

(5) 高等学校における中途退学者数等の状況

県内全公立高等学校

(6) 自殺

県内全公立小・中・高等学校

2 調査対象期間

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

**(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は3,180件で、前年度の2,982件より198件増加。**

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は521件で、前年度の455件より66件増加している。

中学校における発生件数は2,349件で、前年度の2,244件より105件増加している。

高等学校における発生件数は310件で、前年度の283件より27件増加している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は77件で、前年度の64件より13件増加している。中学校における発生件数は271件で、前年度の183件より88件増加している。高等学校における発生件数は30件で、前年度の14件より

16件増加している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は325件で、前年度の293件より32件増加している。中学校における発生件数は1,207件で、前年度の1,143件より64件増加している。高等学校における発生件数は208件で、前年度の197件より11件増加している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は10件で、前年度の12件より2件減少している。中学校における発生件数は70件で、前年度の97件より27件減少している。高等学校における発生件数は18件で、前年度の15件より3件増加している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は109件で、前年度の86件より23件増加している。中学校における発生件数は801件で、前年度の821件より20件減少している。高等学校における発生件数は54件で、前年度の57件より3件減少している。

**(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は8,335件で、前年度の6,674件より1,661件増加。**

ア 校種別認知件数

小学校における認知件数は4,239件で、前年度の3,570件より669件増加している。

中学校における認知件数は3,931件で、前年度の2,997件より934件増加している。

高等学校における認知件数は158件で、前年度の93件より65件増加している。

特別支援学校における認知件数は7件で、前年度の14件より7件減少している。

**(3) 小学校における不登校児童数は、871人で前年度より19人増加し、全児童に対する割合は0.26%で前年度と同じ。**

**中学校における不登校生徒数は4,182人で前年度より65人減少し、全生徒に対する割合は2.74%で0.03%減少。**

※不登校児童生徒数（平成22年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数）

ア 不登校となったきっかけと考えられる状況

(ア) 小学校の児童で「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①不安などの情緒的混乱（18.4%）、②無気力（15.1%）、③親子関係をめぐる問題（11.5%）である。

なお「いじめ」は、2.7%となっている。

(イ) 中学校の生徒で「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①無気力（17.8%）、②不安などの情緒的混乱（14.0%）、③いじめを除く友人関係をめぐる問題（12.4%）である。

なお「いじめ」は、2.6%となっている。

イ 不登校児童生徒への指導の結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果、登校する又はできるようになった児

童」の割合は、28.7%である。

指導中の児童のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童」の割合は、18.9%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果、登校する又はできるようになった生徒」の割合は、29.9%である。

指導中の生徒のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、22.3%である。

ウ 「指導の結果登校するようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置

(ア) 小学校の児童で「『指導の結果登校するようになった児童生徒』に特に効果のあった措置」のうち上位3つは、

①登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした(11.7%)

②家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った(10.5%)

③保護者の協力を求めて、家庭関係や家庭生活の改善を図った(9.1%)である。

(イ) 中学校の生徒で「『指導の結果登校するようになった児童生徒』に特に効果のあった措置」のうち上位3つは、

①登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした(11.5%)

②家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った(11.4%)

③スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった(9.5%)である。

エ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等の結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導を受けた機関等の状況」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等(20.1%)、②養護教諭(19.3%)

③教育委員会所管の機関(教育支援センターを除く)(14.9%)である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導を受けた機関等の状況」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等(32.4%)、②養護教諭(16.5%)、③教育支援センター(12.5%)である。

オ 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数

(ア) 小学校の不登校児童で「自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数」は、4人である。

このうち、「他の機関においても指導要録上の出席扱いを受けた児童数」は3人となっている。

(イ) 中学校の不登校生徒で「自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数」は、6人である。

このうち、「他の機関においても指導要録上の出席扱いを受けた生徒数」は4人となっている。

**(4) 高等学校における長期欠席生徒数は3,684人で、前年度の3,614人より70人増加した。全生徒に対する割合は3.62%で前年度より0.01%減少。**

**長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,506人で、前年度の2,376人より130人増加し、全生徒に対する割合も2.47%で0.08%増加。**

ア 「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①無気力(29.3%)、②あそび・非行(14.2%)、③不安など情緒的混乱(9.1%)である。

なお「いじめ」は、0.2%となっている。

イ 不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等の状況」のうち上位3つは、①養護教諭（17.3%）、②スクールカウンセラー・相談員等（16.5%）、③病院・診療所（6.5%）である。

ウ 長期欠席者3,684人のうち、「病気・けが」は515人で長期欠席者全体に占める割合は14.0%、「経済的理由」は74人で長期欠席者全体に占める割合は2.0%、「不登校」は2,506人で長期欠席者全体に占める割合は68.0%、「その他」は589人で長期欠席者全体に占める割合は16.0%となっている。

エ 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,870人で全日制生徒全体に対する割合は1.9%、定時制の生徒数は636人で、定時制生徒全体に対する割合は18.4%である。

**(5) 公立高等学校の中途退学者数は1,651人で、前年度の1,745人より94人減少し、年度当初の在籍者数に占める割合は1.6%であり、前年度の1.8%より0.2%減少。**

(※平成22年4月1日の在籍者数101,710人を基準とする中退率)

課程別に見ると、全日制が1,157人で、前年度の1,305人より148人減少し、定時制は494人で、前年度の440人より54人増加している。

ア 課程別の中退率は、全日制が1.2%で前年度の1.4%より0.2%減少している。また、定時制は14.2%で前年度の13.6%より0.6%増加している。

イ 学年別の中退率は、第1学年では2.2%で前年度の2.7%より0.5%減少し、第2学年では1.7%で前年度の1.8%より0.1%減少し、また第3学年では0.7%で前年度の0.6%より0.1%増加している。

ウ 全中退者数に占める学年の割合は、第1学年では48.8%で前年度の53.4%より4.6%減少し、第2学年では34.0%で前年度の33.6%より0.4%増加し、また第3学年では13.3%で前年度の11.4%より1.9%増加している。

エ 中退の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適合（51.0%）、②進路変更（23.3%）、③学業不振（9.5%）である。

(ア)「学校生活・学業不適合」の内訳として上位3つは、①もともと高校生活に熱意がない（48.0%）、②人間関係がうまく保てない（17.1%）、③授業に興味がない（16.9%）である。

(イ)「進路変更」の内訳として上位3つは、①就職を希望（53.9%）、②別の高校への入学を希望（20.1%）、③高校卒業程度認定試験を受験希望（11.5%）である。

**(6) 小・中・高等学校における自殺者数は6人で、前年度と変わらず。**

小学校においては自殺は発生していない。中学校における自殺者数は1人で、前年度より1人減少している。高等学校における自殺者数は5人で、前年度より1人増加している。

千葉県の問題行動等の概要

1 暴力行為

校種別 形態・年度	小学校 (件)		中学校 (件)		高等学校 (件)		合計 (件)		増減		
	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外			
対教師力	13年度	0	0	67	0	26	0	93	0	93	-
	14年度	3	0	55	1	29	1	87	2	89	△4
	15年度	5	0	76	0	20	0	101	0	101	12
	16年度	8	0	93	1	23	0	124	1	125	24
	17年度	10	0	89	3	18	0	117	3	120	△5
	18年度	20	0	165	0	25	0	210	0	210	90
	19年度	29	1	243	0	23	0	295	1	296	86
	20年度	45	0	279	2	18	0	342	2	344	48
	21年度	64	0	183	0	14	0	261	0	261	△83
	22年度	75	2	271	0	30	0	376	2	378	117
生徒間力	13年度	5	1	166	62	97	19	268	82	350	-
	14年度	10	3	188	49	104	12	302	64	366	16
	15年度	15	1	210	48	121	16	346	65	411	45
	16年度	24	2	232	36	146	22	402	60	462	51
	17年度	24	4	247	37	153	23	424	64	488	26
	18年度	63	8	370	69	193	22	626	99	725	237
	19年度	132	9	834	104	172	20	1,138	133	1,271	546
	20年度	199	35	969	96	184	19	1,352	150	1,502	231
	21年度	278	15	1,006	137	177	20	1,461	172	1,633	131
	22年度	317	8	1,063	144	179	29	1,559	181	1,740	107
対人力	13年度	0	0	0	18	0	15	0	33	33	-
	14年度	0	0	6	33	2	11	8	44	52	19
	15年度	1	1	1	36	0	16	2	53	55	3
	16年度	1	1	0	32	0	8	1	41	42	△13
	17年度	0	0	0	35	0	14	0	49	49	7
	18年度	0	0	2	43	0	9	2	52	54	5
	19年度	6	2	9	65	0	13	15	80	95	41
	20年度	4	7	10	53	2	12	16	72	88	△7
	21年度	11	1	23	74	0	15	34	90	124	36
	22年度	7	3	14	56	0	18	21	77	98	△26
器物損	13年度	10	-	202	-	47	-	259	-	259	-
	14年度	11	-	175	-	45	-	231	-	231	△28
	15年度	28	-	206	-	64	-	298	-	298	67
	16年度	23	-	177	-	61	-	261	-	261	△37
	17年度	16	-	279	-	68	-	363	-	363	102
	18年度	37	-	349	-	50	-	436	-	436	73
	19年度	46	-	652	-	64	-	762	-	762	326
	20年度	40	-	1,051	-	75	-	1,166	-	1,166	404
	21年度	86	-	821	-	57	-	964	-	964	△202
	22年度	109	-	801	-	54	-	964	-	964	0
合計	13年度	15	1	435	80	170	34	620	115	735	-
	14年度	24	3	424	83	180	24	628	110	738	3
	15年度	49	2	493	84	205	32	747	118	865	127
	16年度	56	3	502	69	230	30	788	102	890	25
	17年度	50	4	615	75	239	37	904	116	1,020	130
	18年度	120	8	886	112	268	31	1,274	151	1,425	405
	19年度	213	12	1,738	169	259	33	2,210	214	2,424	999
	20年度	288	42	2,309	151	279	31	2,876	224	3,100	676
	21年度	439	16	2,033	211	248	35	2,720	262	2,982	△118
	22年度	508	13	2,149	200	263	47	2,920	260	3,180	198

2 いじめ

	小学校 (件)	中学校 (件)	高等学校 (件)	特別支援学校 (件)	合計 (件)	増減
13年度	639	1,216	56	0	1,911	-
14年度	603	1,296	34	8	1,941	30
15年度	874	1,357	51	2	2,284	343
16年度	678	1,193	58	4	1,933	△351
17年度	618	1,182	69	2	1,871	△62
18年度	4,671	3,745	171	9	8,596	6725
19年度	5,103	3,970	141	12	9,226	630
20年度	3,646	3,244	145	6	7,041	△2185
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	△367
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1661

3 不登校

	小学校不登校生徒数			中学校不登校生徒数			合計 (件)	増減
	不登校児童数 (人)	出現率 (%)	全国出現率 (%)	不登校生徒数 (人)	出現率 (%)	全国出現率 (%)		
13年度	831	0.25	0.36	4,629	2.76	2.81	5,460	-
14年度	839	0.26	0.36	4,301	2.66	2.73	5,140	△320
15年度	848	0.26	0.33	4,085	2.61	2.73	4,933	△207
16年度	764	0.23	0.32	3,992	2.62	2.73	4,756	△177
17年度	776	0.23	0.32	4,091	2.72	2.75	4,867	111
18年度	821	0.25	0.33	4,190	2.72	2.86	5,011	144
19年度	819	0.25	0.34	4,363	2.89	2.91	5,182	171
20年度	811	0.24	0.32	4,340	2.87	2.89	5,151	△31
21年度	852	0.26	0.32	4,247	2.77	2.77	5,099	△52
22年度	871	0.26	0.32	4,182	2.74	2.74	5,053	△46

4 長期欠席の状況等

年度	生徒数	不登校	高等学校		病気・経済的・その他	長期欠席	県	
			県出現率	全国出現率			県	全国
18年度	102,938	2,873	2.79	1.65	1,870	4,743	4.61	3.06
19年度	100,798	3,195	3.17	1.56	1,632	4,827	4.79	2.94
20年度	99,616	2,851	2.86	1.58	1,672	4,523	4.54	2.81
21年度	99,497	2,376	2.39	1.55	1,238	3,614	3.63	2.52
22年度	101,647	2,506	2.47	1.66	1,178	3,684	3.62	2.62

5 中途退学者

年度	中退率	全日制	定時制	合計	増減
13年度	2.70%	2,769	526	3,295	-
14年度	2.40%	2,374	491	2,865	△430
15年度	2.50%	2,280	545	2,825	△40
16年度	2.40%	2,162	423	2,585	△240
17年度	2.40%	2,105	488	2,593	8
18年度	2.42%	2,006	483	2,489	△104
19年度	2.36%	1,936	442	2,378	△111
20年度	2.19%	1,695	490	2,185	△193
21年度	1.75%	1,305	440	1,745	△440
22年度	1.62%	1,157	494	1,651	△94

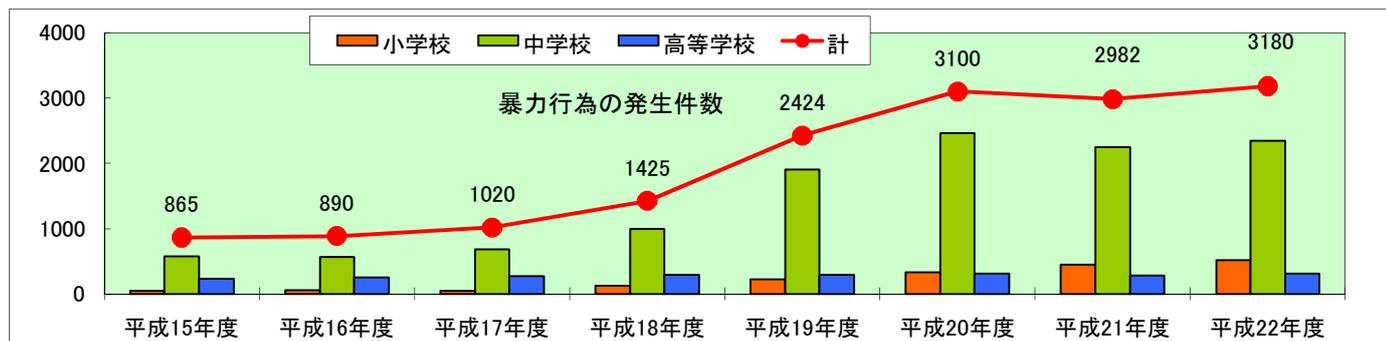
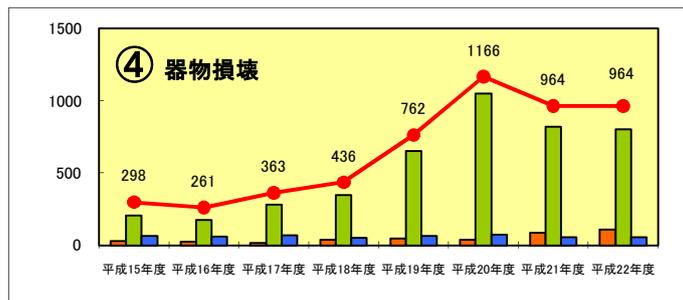
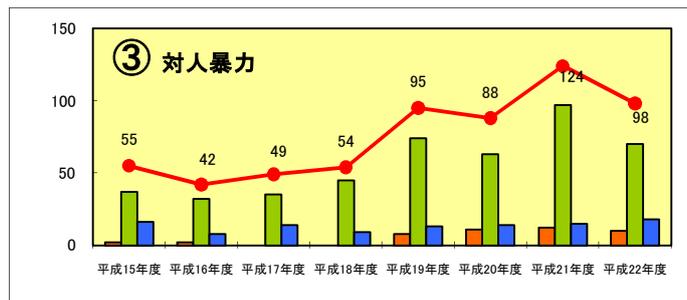
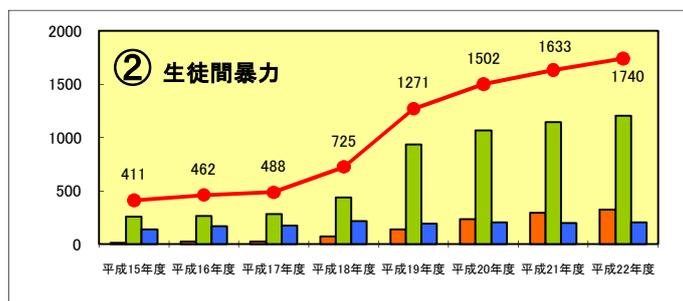
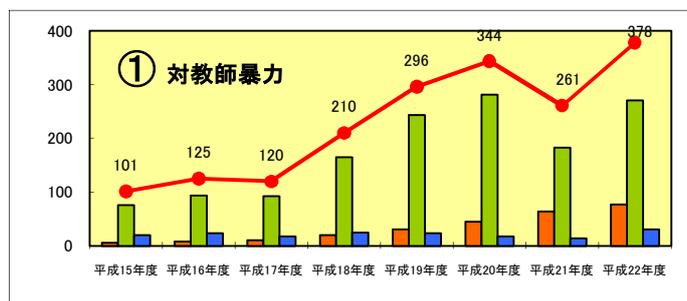
6 自殺

年度	小学校	中学校	高等学校	合計
13年度	0	0	4	4
14年度	0	1	2	3
15年度	0	0	4	4
16年度	0	1	5	6
17年度	0	1	4	5
18年度	0	3	6	9
19年度	0	0	3	3
20年度	0	3	4	7
21年度	0	2	4	6
22年度	0	1	5	6

## 暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成15年度	小学校	5		15	1	1	1	28	51	865
	中学校	76		210	48	1	36	206	577	
	高等学校	20		121	16		16	64	237	
平成16年度	小学校	8		24	2	1	1	23	59	890
	中学校	93	1	232	36		32	177	571	
	高等学校	23		146	22		8	61	260	
平成17年度	小学校	10		24	4			16	54	1020
	中学校	89	3	247	37		35	279	690	
	高等学校	18		153	23		14	68	276	
平成18年度	小学校	20		63	8			37	128	1425
	中学校	165		370	69	2	43	349	998	
	高等学校	25		193	22		9	50	299	
平成19年度	小学校	29	1	132	9	6	2	46	225	2424
	中学校	243		834	104	9	65	652	1907	
	高等学校	23		172	20		13	64	292	
平成20年度	小学校	45		199	35	4	7	40	330	3100
	中学校	279	2	969	96	10	53	1051	2460	
	高等学校	18		184	19	2	12	75	310	
平成21年度	小学校	64		278	15	11	1	86	455	2982
	中学校	183		1006	137	23	74	821	2244	
	高等学校	14		177	20		15	57	283	
平成22年度	小学校	75	2	317	8	7	3	109	521	3180
	中学校	271		1063	144	14	56	801	2349	
	高等学校	30		179	29		18	54	310	

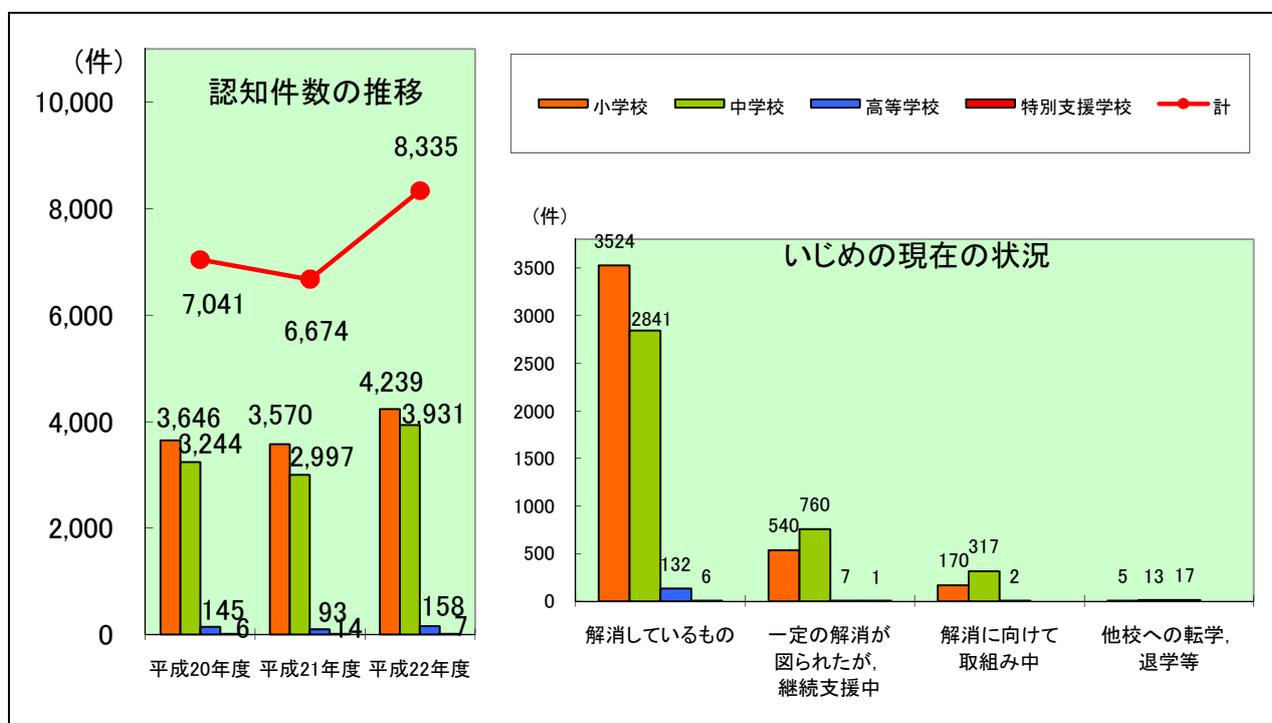


※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

## いじめの認知状況（千葉県）

	区 分	公立学校 総数	うち発生(認知) 校数【%】		発生(認知) 件数	増減【%】	一校平均 件数
小学校	平成20年度	850	450	【52.9%】	3,646	—	4.3
	平成21年度	845	447	【52.9%】	3,570	△76【△2.1%】	4.2
	平成22年度	847	497	【58.7%】	4,239	669【18.7%】	5.0
中学校	平成20年度	385	313	【81.3%】	3,244	—	8.4
	平成21年度	383	304	【79.4%】	2,997	△247【△7.6%】	7.8
	平成22年度	383	320	【83.6%】	3,931	934【31.2%】	10.3
高等学校	平成20年度	154	59	【38.3%】	145	—	0.9
	平成21年度	153	46	【30.1%】	93	△52【△35.9%】	0.6
	平成22年度	153	49	【32.0%】	158	65【69.9%】	1.0
特別 学校支 援	平成20年度	33	5	【15.2%】	6	—	0.2
	平成21年度	35	5	【14.3%】	14	8【133.3%】	0.4
	平成22年度	35	3	【8.6%】	7	△7【△50.0%】	0.2
計	平成20年度	1,422	827	【58.2%】	7,041	—	5.0
	平成21年度	1,416	802	【56.6%】	6,674	△367【△5.2%】	4.7
	平成22年度	1,418	869	【61.3%】	8,335	1661【24.9%】	5.9



※ いじめの定義(平成18年度一部改訂)

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

## 平成22年度 公立小中学校の不登校の状況について

### 1 小中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数(人)	不登校児童生徒数(人)	前年度との不登校数の差(人)	全児童生徒に対する割合(%)	前年度との割合の差
小 学 校	平成12年度	860	329,973	904		0.27	0.00
	平成13年度	860	327,851	831	-73	0.25	-0.02
	平成14年度	859	327,455	839	8	0.26	0.01
	平成15年度	859	329,643	848	9	0.26	0.00
	平成16年度	859	329,922	764	-84	0.23	-0.03
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26	0.02
平成22年度	847	333,188	871	19	0.26	0.00	
中 学 校	平成12年度	385	172,422	4,541		2.63	0.24
	平成13年度	385	167,559	4,629	88	2.76	0.13
	平成14年度	385	161,781	4,301	-328	2.66	-0.10
	平成15年度	385	156,398	4,085	-216	2.61	-0.05
	平成16年度	384	152,280	3,992	-93	2.62	0.01
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77	-0.10
平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74	-0.03	
合 計	平成12年度	1245	502,395	5,445		1.08	0.07
	平成13年度	1245	495,410	5,460	15	1.10	0.02
	平成14年度	1244	489,236	5,140	-320	1.05	-0.05
	平成15年度	1244	486,041	4,933	-207	1.01	-0.04
	平成16年度	1243	482,202	4,756	-177	0.99	-0.02
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06	-0.01
	平成21年度	1228	487,645	5,099	-52	1.05	-0.01
平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04	-0.01	

### 2 平成22年度 学年別不登校児童生徒数

#### 【小学校】

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
22年度男子	28	42(13)	56(15)	81(28)	110(35)	142(45)	459(136)
22年度女子	17	33(12)	29(10)	68(18)	110(43)	155(62)	412(145)
22年度合計	45	75(25)	85(25)	149(46)	220(78)	297(107)	871(281)

#### 【中学校】

区分	1年	2年	3年	合計
22年度男子	464(168)	832(408)	868(518)	2164(1094)
22年度女子	437(162)	734(358)	847(515)	2018(1035)
22年度合計	901(330)	1566(766)	1715(1033)	4182(2129)

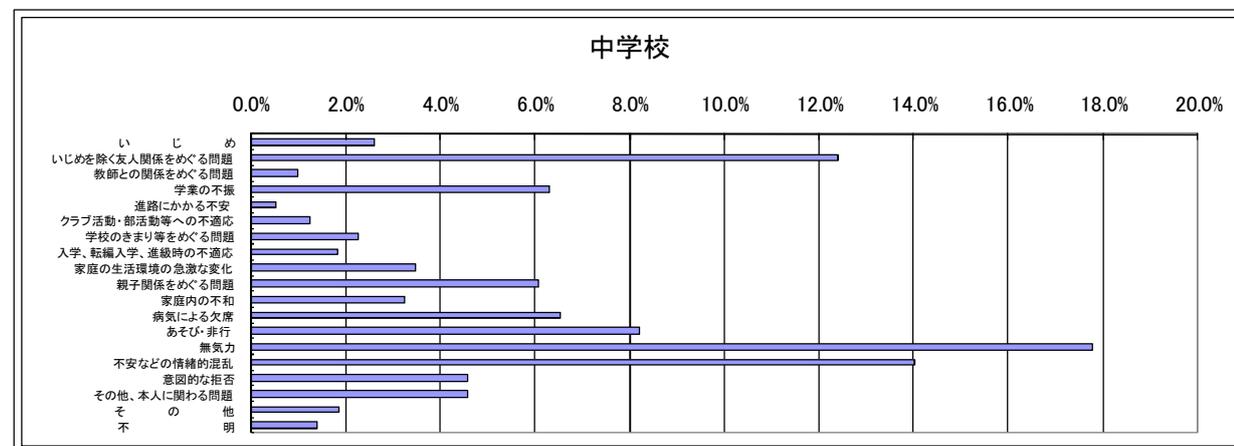
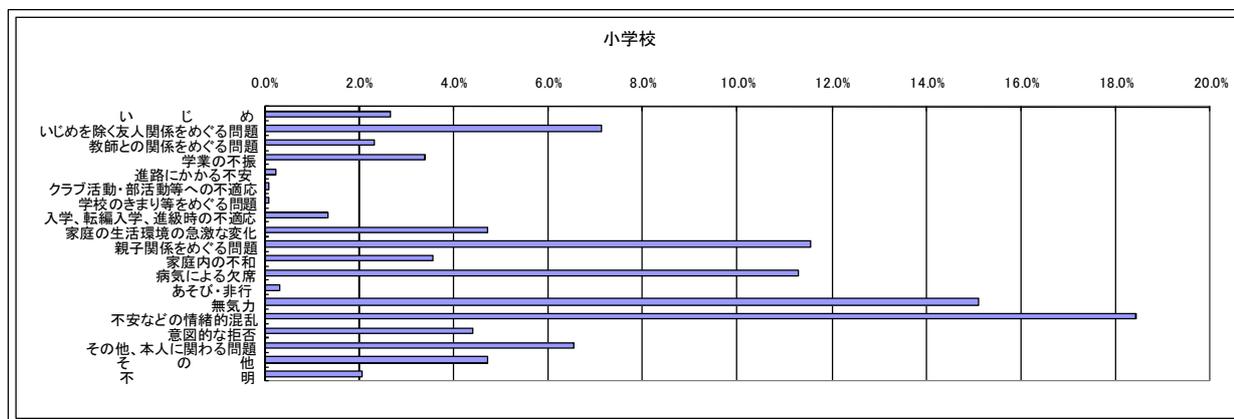
※( )内は前年度から不登校の状態(30日以上)が継続している児童生徒の人数。中学1年生については平成21年度における小学校6年生の不登校児童生徒の人数。

### 3 不登校児童生徒の在籍学校数

区 分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校	847	379
中学校	383	364
合 計	1,230	743

4 不登校となったきっかけと考えられる状況

区分	小学校			中学校		
	単位(人)	構成比(%)		単位(人)	構成比(%)	
学校生活に起因	いじめ	32	2.7%	136	2.6%	
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	86	7.1%	643	12.4%	③
	教師との関係をめぐる問題	28	2.3%	51	1.0%	
	学業の不振	41	3.4%	327	6.3%	
	進路にかかる不安	3	0.2%	28	0.5%	②
	クラブ活動・部活動等への不応	1	0.1%	65	1.3%	
	学校のきまり等をめぐる問題	1	0.1%	118	2.3%	
	入学、転編入学、進級時の不応	16	1.3%	95	1.8%	
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	57	4.7%	181	3.5%	
	親子関係をめぐる問題	139	11.5%	316	6.1%	③
	家庭内の不和	43	3.6%	169	3.3%	12.8%
本人の問題に起因	病気による欠席	136	11.3%	339	6.5%	
	あそび・非行	4	0.3%	426	8.2%	
	無気力	182	15.1%	922	17.8%	①
	不安などの情緒的混乱	222	18.4%	727	14.0%	②
	意図的な拒否	53	4.4%	238	4.6%	
	その他、本人に関わる問題	79	6.6%	238	4.6%	
その他	57	4.7%	96	1.9%	1.9%	
不明	25	2.1%	72	1.4%	1.4%	
計	1,205	100%	5,187	100%	100%	



## 5 平成22年度「不登校児童生徒への指導結果状況」

番号	区 分	小 学 校 人数 (%)	中 学 校 人数 (%)	計 人数 (%)
1	指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	250 (28.7)	1,251 (29.9)	1,501 (29.7)
2	指導中の児童生徒	621 (71.3)	2,931 (70.1)	3,552 (70.3)
	うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	165 (18.9)	934 (22.3)	1099 (21.7)
3	計	871	4182	5053

## 6 平成22年度「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置

番号	区 分	小 学 校		中 学 校		計	
		校数 (%)	順位	校数 (%)	順位	校数 (%)	順位
1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	87 (6.6)		165 (6.1)		252 (6.3)	
2	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった	84 (6.4)		181 (6.7)		265 (6.6)	
3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	43 (3.3)		115 (4.3)		158 (3.9)	
4	養護教諭が専門的に指導にあたった。	59 (4.5)		116 (4.3)		175 (4.4)	
5	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった。	56 (4.3)		256 (9.5)	③	312 (7.8)	
6	友人関係を改善するための指導を行った。	85 (6.5)		157 (5.8)		242 (6.0)	
7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	106 (8.1)		161 (6.0)		267 (6.7)	
8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	63 (4.8)		83 (3.1)		146 (3.6)	
9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した。	97 (7.4)		109 (4.0)		206 (5.1)	
10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	90 (6.9)		250 (9.3)		340 (8.5)	
11	登校を促すため、電話をかけたかたり迎えに行くなどした。	154 (11.7)	①	310 (11.5)	①	464 (11.6)	①
12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	138 (10.5)	②	306 (11.4)	②	444 (11.1)	②
13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	120 (9.1)	③	221 (8.2)		341 (8.5)	③
14	教育相談センター等の相談機関と連携して相談にあたった。	88 (6.7)		171 (6.4)		259 (6.5)	
15	病院等の治療機関と連携して指導にあたった。	28 (2.1)		68 (2.5)		96 (2.4)	
16	その他	14 (1.1)		23 (0.9)		37 (0.9)	
		1,312		2,692		4,004	

(注) 複数回答を可としている。

7 平成22年度「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」

区 分	小 学 校					中 学 校					計				
	人 数	割合 (%) 計	指導要 録上出 席扱い の人数	出席扱 いにし た学校 数(校)	通学定期 乗車券制 度の利用 人数	人 数	割合 (%) 計	指導要 録上出 席扱い (人)	出席扱 いにし た学校 数(校)	通学定期 乗車券制 度の利用 人数	人 数	割合 (%) 計	指導要 録上出 席扱い の人数	出席扱 いにし た学校 数(校)	通学定期 乗車券制 度の利用 人数
(1) ①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	351	( 40.3)	186	128	2	1118	( 26.7)	751	285	22	1469	( 29.1)	937	413	24
① 教育支援センター（適応指導教室）	99	( 11.4)	74	60	1	521 <sup>③</sup>	( 12.5)	459	174	12	620 <sup>③</sup>	( 12.3)	533	234	13
② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関（①を除く）	130 <sup>③</sup>	( 14.9)	77	52	0	283	( 6.8)	205	77	5	413	( 8.2)	282	129	5
③ 児童相談所，福祉事務所	54	( 6.2)	13	9	0	95	( 2.3)	43	25	0	149	( 2.9)	56	34	0
④ 保健所，精神保健センター	11	( 1.3)	7	0	0	11	( 0.3)	1	1	1	22	( 0.4)	8	1	1
⑤ 病院，診療所	59	( 6.8)	8	6	0	153	( 3.7)	5	5	0	212	( 4.2)	13	11	0
⑥ 民間団体，民間施設	14	( 1.6)	8	6	1	49	( 1.2)	32	23	3	63	( 1.2)	40	29	4
⑦ 上記以外の機関等	20	( 2.3)	4	1	0	20	( 0.5)	5	3	1	40	( 0.8)	9	4	1
(2) ①～⑦の機関等での相談・指導を受けていない人数	520	( 59.7)	/	/	/	3064	( 73.3)	/	/	/	3584	( 70.9)	/	/	/
(3) (1)，(2)の合計	871	(100.0)	/	/	/	4182	(100.0)	/	/	/	5053	(100.0)	/	/	/
(4) ⑧，⑨による相談・指導を受けた実人数	288	( 33.1)	/	/	/	1693	( 40.5)	/	/	/	1981	( 39.2)	/	/	/
⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	168 <sup>②</sup>	( 19.3)	/	/	/	691 <sup>②</sup>	( 16.5)	/	/	/	859 <sup>②</sup>	( 17.0)	/	/	/
⑨ スクールカウンセラー，相談員等による専門的な相談を受けた人数	175 <sup>①</sup>	( 20.1)	/	/	/	1356 <sup>①</sup>	( 32.4)	/	/	/	1531 <sup>①</sup>	( 30.3)	/	/	/
(5) 上記⑧，⑨による相談・指導を受けていない人	583	( 66.9)	/	/	/	2489	( 59.5)	/	/	/	3072	( 60.8)	/	/	/
(6) (4) (5)の合計	871	(100.0)	/	/	/	4182	(100.0)	/	/	/	5053	(100.0)	/	/	/
(7) 上記①～⑦，⑧，⑨による相談・指導を受けていない人数(学校内外の機関等でまったく相談・指導を受けていない人)	261	( 30.0)	/	/	/	1514	( 36.2)	/	/	/	1775	( 35.1)	/	/	/

(注) 複数回答を可としている。「割合」は不登校数の中での割合を示す。

## 平成22年度 公立高等学校の長期欠席の状況について

### 1-(1) 公立高等学校長期欠席者数(在籍人数は学校基本調査5月1日現在による)

	在籍者数	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率	前年比
全 日 制	98,182	2,536	-123	2.58	-0.18
定 時 制	3,465	1,148	193	33.13	3.42
全定合計	101,647	3,684	70	3.62	-0.01

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続または断続して30日以上欠席した者である。

### 1-(2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全 日 制 計			定 時 制 計			全 定 合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気・けが	405	0.41	15.97	110	3.17	9.58	515	0.51	13.98
経済的理由	34	0.03	1.34	40	1.15	3.48	74	0.07	2.01
不 登 校	1,870	1.90	73.74	636	18.35	55.40	2,506	2.47	68.02
そ の 他	227	0.23	8.95	362	10.45	31.53	589	0.58	15.99
合 計	2,536	2.58	100.00	1,148	33.13	100.00	3,684	3.62	100.00

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

### 2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合 計
全 日 制	503	1,110	257	1,870
定 時 制	388	203	45	636
全定合計	891	1,313	302	2,506

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

### 3-(1) 課程別不登校生徒数

	全日制		定時制		全定合計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	531	1.81	/		531	1.81
2学年	634	2.34	/		634	2.34
3学年	501	1.87	/		501	1.87
単位制	204	1.36	636	18.35	840	4.54
合計	1,870	1.90	636	18.35	2,506	2.47

### 3-(2) 全日制学科別不登校生徒数

	普通科		専門学科		総合学科	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	396	1.63	135	2.64	/	
2学年	527	2.38	107	2.20	/	
3学年	392	1.77	109	2.34	/	
単位制	100	0.84	12	0.90	92	5.21
合計	1,415	1.76	363	2.28	92	5.21

### 3-(3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中退者数	中退率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全日制	1,870	491	26.26	69	3.69
定時制	636	170	26.73	0	0
全定合計	2,506	661	26.38	69	2.75

#### 4 不登校となったきっかけと考えられる状況(複数回答)

区 分		全日制		定時制		全定合計	
		総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)
学校生活に起因	い じ め	3	0.2	1	0.1	4	0.2
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	157	7.9	31	4.6	188	7.1
	教職員との関係をめぐる問題	8	0.4	2	0.3	10	0.4
	学 業 の 不 振	118	5.9	36	5.4	154	5.8
	進路にかかると不安	56	2.8	2	0.3	58	2.2
	クラブ活動、部活動等への不適應	22	1.1	2	0.3	24	0.9
	学校のきまり等をめぐる問題	32	1.6	16	2.4	48	1.8
	入学、転編入学、進級時の不適應	56	2.8	22	3.3	78	2.9
	小 計	452	22.7	112	16.7	564	21.2
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	55	2.8	22	3.3	77	2.9
	親子関係をめぐる問題	89	4.5	14	2.1	103	3.9
	家 庭 内 の 不 和	43	2.2	9	1.3	52	2.0
	小 計	187	9.4	45	6.7	232	8.7
本人の問題に起因	病 気 に よ る 欠 席	82	4.1	30	4.5	112	4.2
	あ そ び ・ 非 行	227 ②	11.4	151 ①	22.5	378 ②	14.2
	無 気 力	632 ①	31.7	148 ②	22.1	780 ①	29.3
	不安など情緒的混乱	195 ③	9.8	48 ③	7.2	243 ③	9.1
	意 図 的 な 拒 否	54	2.7	37	5.5	91	3.4
	その他本人に関わる問題	87	4.4	23	3.4	110	4.1
	小 計	1,277	64.1	437	65.1	1,714	64.4
そ の 他	14	0.7	17	2.5	31	1.2	
不 明	61	3.1	60	8.9	121	4.5	
合 計	1,991	100.0	671	100.0	2,662	100.0	

5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導を受けた実人数	192	10.3%	28	4.4%	220	8.8%
	指導要録上出席扱いとなった人数	3		0		3	
	①教育支援センター(適応指導教室)	8	0.4%	0	0.0%	8	0.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	17	0.9%	2	0.3%	19	0.8%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	③児童相談所, 福祉事務所	12	0.6%	1	0.2%	13	0.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	2		0		2	
	④保健所, 精神保健福祉センター	5	0.3%	0	0.0%	5	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	1		0		1	
	⑤病院, 診療所	138	③ 7.4%	26	③ 4.1%	164	③ 6.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑥民間団体, 民間施設	6	0.3%	0	0.0%	6	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑦上記以外の施設	10	0.5%	1	0.2%	11	0.4%
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,294	69.2%	475	74.7%	1,769	70.6%	
(3)不明	384	20.5%	133	20.9%	517	20.6%	
(4) (1)～(3)の合計	1,870	100.0%	636	100.0%	2,506	100.0%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	579	31.0%	155	24.4%	734	29.3%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	359	① 19.2%	75	② 11.8%	434	① 17.3%
	⑨SC, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	308	② 16.5%	105	① 16.5%	413	② 16.5%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,291	69.0%	481	75.6%	1,772	70.7%
	(7) (5), (6)の合計	1,870	100.0%	636	100.0%	2,506	100.0%

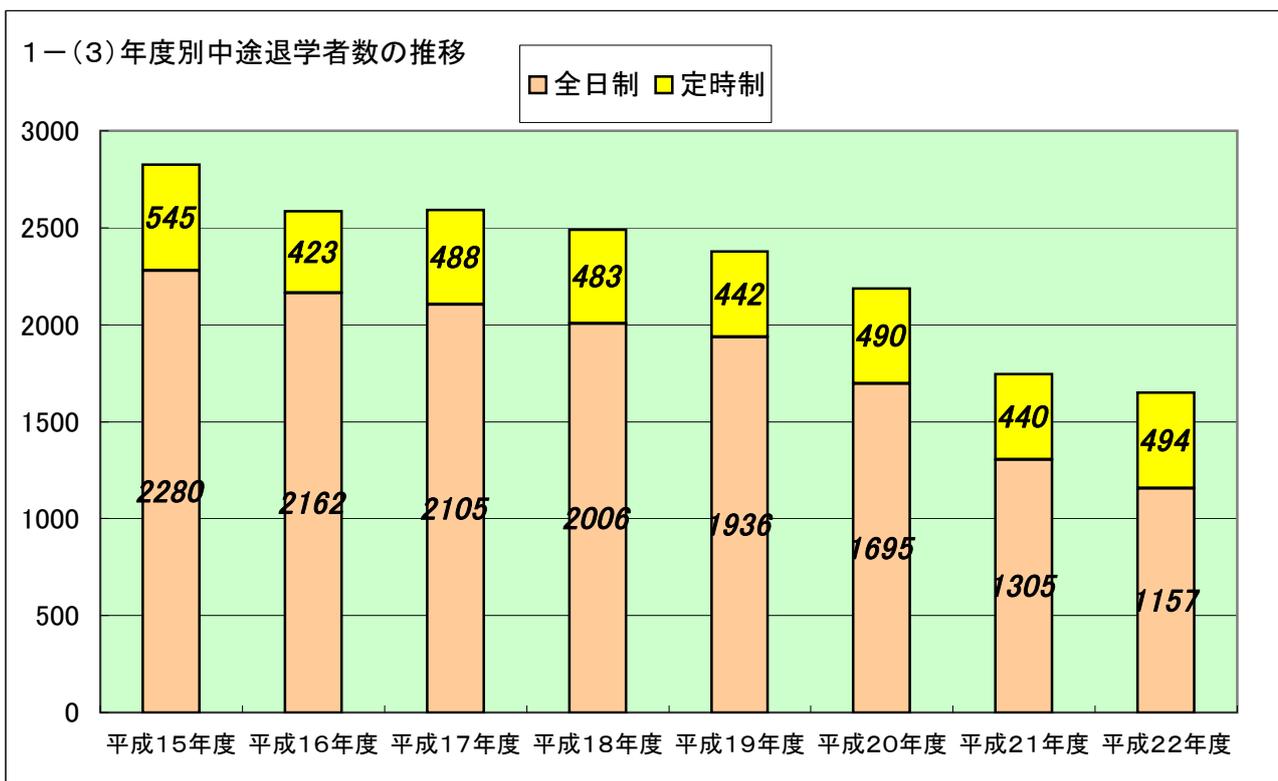
## 平成22年度 公立高等学校の中途退学者の状況について

1-（1）公立高等学校中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

	在籍者数(H22/4/1現在)	中途退学者総数	前年増減	中退率(%)	前年比(%)
全日制	98,226	1,157	-148	1.18	-0.17
定時制	3,484	494	54	14.18	0.57
全定合計	101,710	1,651	-94	1.62	-0.13

1-（2）平成15年度以降の中途退学者(人数)・中途退学率(%)

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
全日制	中退者数	2,280	2,162	2,105	2,006	1,936	1,695	1,305	1,157
	中退率	2.07	1.71	2.04	2.00	1.97	1.75	1.35	1.18
定時制	中退者数	545	423	488	483	442	490	440	494
	中退率	19.02	16.10	18.34	18.20	15.88	16.13	13.61	14.18
全定合計	中退者数	2,825	2,585	2,593	2,489	2,378	2,185	1,745	1,651
	中退率	2.50	2.36	2.44	2.42	2.36	2.19	1.75	1.62



2-(1) 学年別中途退学者数(全日制)

学年		在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(c)	中退率 (c/a %)	学年割合(%)	中退率 前年比(%)	学年割合 前年比(%)
1年	男	17,193	350	2.04			
	女	17,854	245	1.37			
	計	35,047	595	1.70	51.4	-0.38	-1.6
2年	男	15,851	208	1.31			
	女	16,447	197	1.20			
	計	32,298	405	1.25	35.0	-0.25	-1.6
3年	男	15,183	86	0.57			
	女	15,698	71	0.45			
	計	30,881	157	0.51	13.6	0.07	3.1
合計	男	48,227	644	1.34			
	女	49,999	513	1.03			
	計	98,226	1,157	1.18		-0.17	

2-(2) 学年別中途退学者数(定時制)

学年		在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(c)	中退率 (c/a %)	学年割合(%)	中退率 前年比(%)	学年割合 前年比(%)
1年	男	724	124	17.13			
	女	525	86	16.38			
	計	1,249	210	16.81	42.5	-3.34	-12.3
2年	男	547	82	14.99			
	女	459	74	16.12			
	計	1,006	156	15.51	31.6	2.88	6.6
3年	男	416	28	6.73			
	女	352	34	9.66			
	計	768	62	8.07	12.6	-0.98	-1.5
4年	男	264	30	11.36			
	女	197	36	18.27			
	計	461	66	14.32	13.4	8.72	7.3
合計	男	1,951	264	13.53			
	女	1,533	230	15.00			
	計	3,484	494	14.18		0.57	

2-(3) 学年別中途退学者数(全・定 合計)

学年		在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(c)	中退率 (c/a %)	学年割合(%)	中退率 前年比(%)	学年割合 前年比(%)
1年	男	17,917	474	2.65			
	女	18,379	331	1.80			
	計	36,296	805	2.22	48.8	-0.48	-4.6
2年	男	16,398	290	1.77			
	女	16,906	271	1.60			
	計	33,304	561	1.68	34.0	-0.12	0.4
3年	男	15,599	114	0.73			
	女	16,050	105	0.65			
	計	31,649	219	0.69	13.3	0.07	1.9
4年	男	264	30	11.36			
	女	197	36	18.27			
	計	461	66	14.32	4.0	8.72	2.5
合計	男	50,178	908	1.81			
	女	51,532	743	1.44			
	計	101,710	1,651	1.62		-0.13	

(注) 単位制高校に在学する生徒については、平成22年度入学生を第1学年、平成21年度入学生を第2学年、平成20年度入学生を第3学年、平成19年度以前の入学生を第4学年とした。

3-（1）中途退学の理由別割合（全日制）

※）理由別中退率は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

中途退学の理由		総数	理由別中退率	理由内割合		前年比(%)		
学	業 不 振	150	0.15	13.0			-0.8	
学 校 生 活 学 業 不 適 応	もともと高校生活に熱意がない	273	0.28	23.6	44.7	52.8	2.8	5.4
	授業に興味がない	109	0.11	9.4	17.8		-0.3	-0.6
	人間関係がうまく保てない	112	0.11	9.7	18.3		0.4	0.8
	学校の雰囲気が合わない	59	0.06	5.1	9.7		-1.3	-2.3
	その他	58	0.06	5.0	9.5		-1.8	-3.4
進 路 変 更	別の高校へ入学を希望	60	0.06	5.2	28.2	18.4	-0.5	-4.0
	専修・各種学校への入学を希望	7	0.01	0.6	3.3		-0.7	-4.1
	就職を希望	90	0.09	7.8	42.3		1.0	3.6
	高卒程度認定試験を受験希望	34	0.03	2.9	16.0		0.7	3.4
	その他	22	0.02	1.9	10.3		0.3	1.2
病 気 け が 死 亡	41	0.04	3.5			0.0		
経 済 的 理 由	11	0.01	1.0			-0.5		
家 庭 の 事 情	44	0.04	3.8			-1.1		
問 題 行 動 等	65	0.07	5.6			2.0		
そ の 他 の 理 由	22	0.02	1.9			-0.2		
合 計		1,157	1.18					

3-（2）中途退学の理由別割合（定時制）

中途退学の理由		総数	理由別中退率	理由内割合		前年比(%)		
学	業 不 振	7	0.20	1.4			-1.6	
学 校 生 活 学 業 不 適 応	もともと高校生活に熱意がない	131	3.76	26.5	56.7	46.8	1.0	6.2
	授業に興味がない	33	0.95	6.7	14.3		2.6	6.2
	人間関係がうまく保てない	32	0.92	6.5	13.9		-3.7	-6.4
	学校の雰囲気が合わない	11	0.32	2.2	4.8		-0.8	-1.1
	その他	24	0.69	4.9	10.4		-2.8	-4.9
進 路 変 更	別の高校へ入学を希望	17	0.49	3.4	9.9	34.6	0.7	0.5
	専修・各種学校への入学を希望	7	0.20	1.4	4.1		-0.4	-2.2
	就職を希望	117	3.36	23.7	68.4		4.8	3.6
	高卒程度認定試験を受験希望	10	0.29	2.0	5.8		-0.3	-2.0
	その他	20	0.57	4.0	11.7		0.6	0.0
病 気 け が 死 亡	12	0.34	2.4			-0.6		
経 済 的 理 由	11	0.32	2.2			-0.3		
家 庭 の 事 情	22	0.63	4.5			-1.0		
問 題 行 動 等	25	0.72	5.1			1.0		
そ の 他 の 理 由	15	0.43	3.0			0.5		
合 計		494	14.18					

3-（3）中途退学の理由別割合（全・定 合計）

中途退学の理由		総数	理由別中退率	理由内割合		前年比(%)		
学	業 不 振	157	0.15	9.5			-1.6	
学 校 生 活 学 業 不 適 応	もともと高校生活に熱意がない	404	0.40	24.5	48.0	51.0	2.5	6.0
	授業に興味がない	142	0.14	8.6	16.9		0.3	1.0
	人間関係がうまく保てない	144	0.14	8.7	17.1		-0.8	-1.1
	学校の雰囲気が合わない	70	0.07	4.2	8.3		-1.3	-2.2
	その他	82	0.08	5.0	9.7		-2.0	-3.8
進 路 変 更	別の高校へ入学を希望	77	0.08	4.7	20.1	23.3	-0.2	-3.9
	専修・各種学校への入学を希望	14	0.01	0.8	3.6		-0.6	-3.4
	就職を希望	207	0.20	12.5	53.9		2.6	5.9
	高卒程度認定試験を受験希望	44	0.04	2.7	11.5		0.5	0.6
	その他	42	0.04	2.5	10.9		0.4	0.8
病 気 け が 死 亡	53	0.05	3.2			-0.2		
経 済 的 理 由	22	0.02	1.3			-0.4		
家 庭 の 事 情	66	0.06	4.0			-1.0		
問 題 行 動 等	90	0.09	5.5			1.8		
そ の 他 の 理 由	37	0.04	2.2			0.0		
合 計		1,651	1.62					